

# 英語Ⅱ 2年生

## —— オーラルワークを重視した高校総合英語の授業 ——

浅見道明

### 本校英語科のカリキュラムの概要（平成17年度入学生）

学年別開講科目及び週あたり時間数

- 1年 英語Ⅰ（必修）（4時間） 教養基礎英語Ⅰ（必修）（1時間）  
2年 英語Ⅱ（必修）（4時間） 教養基礎英語Ⅱ（必修）（1時間）  
3年 英語Ⅱ（選択）（2時間） リーディング（選択）（2時間）  
ライティング（選択）（2時間） 教養基礎英語Ⅲ（選択）（2時間）

### 授業の概要

本校英語科では英語Ⅰ・ⅡでOral Introductionを行っている。そこで、この英語Ⅱの授業ではOral Introductionを中心に聞く、話す、読む、書くという4技能の指導を行っている。まず、Oral Introductionで聞くことの指導を行い、その教師のOral Introductionを、ペアを作って、一人ずつ繰り返させる。さらに、2名の生徒にクラスの前でOral Introductionを繰り返させ、話す活動を行う。次に教科書を開き、本文を読ませ、読む活動を行う。最後に、聞いた内容と読んだ内容を紙にまとめさせ、書く活動を行う。

今回の授業では教科書*PRO-VISION ENGLISH COURSE II*のLesson 6 Genetically Modified FoodsのPart 2を扱った。このPartでは品種改良と遺伝子組み換えが取りあげられているが、Oral Introductionでは犬の例を用いて品種改良を説明し、遺伝子組み換えでは異種間での掛け合わせが可能であることを説明してこれらの違いを示した。

### Procedure

1. Warming-up (3 mins.)
2. Review (10 mins.)
3. Oral Introduction (20 mins.)
4. Silent Reading (2 mins.)
5. Tape Listening (1 mins.)
6. Choral Reading (4 mins.)

7. Comprehension (10 mins.)
8. Explanation (10 mins.)
9. Choral Reading (10 mins.)
10. Pair Reading (5 mins.)
11. Read and look-up (5 mins.)
12. Memorization (5 mins.)
13. Summary Writing (10 mins.)

## 授業のポイント

### 〈Review〉

教科書本文の重要表現を用いてパターンプラクティスを行うが、機械的なパターンプラクティスから内容のある自己表現へ発展できるよう心がけている。

### 〈Oral Introduction〉

リスニングの練習が主な目的である。検定教科書は語彙制限や語数制限のため舌足らずになりがちである。その本文の行間を埋められるように、教科書の内容理解の補助をするための、あるいは、発展させた内容を話して聞かせる。その後、スピーキングの練習として、ペアで教師が言ったことを繰り返させる。さらに、2名を指名して、クラスの前で話させる。生徒の将来のために、聞いた内容を口頭で伝える練習を行わせている。

### 〈Comprehension〉 (内容理解のための穴埋めシート)

自分で書き込むと本文のまとめになるように考えて穴埋めシートを作っている。リーディング・ライティングの活動になり、同時に内容理解ができる。

### 〈Reading〉 (音声で内容を覚えさせる音読指導)

生徒が常に新鮮みを持ちながらできるように、やり方を変えながら何度も音読させ、最後には音声による暗記ができるようにしている。

### 〈Summary Writing〉 自分が学んだ内容をまとめるSummary Sheet

学んだことを自分の言葉で書かせて、知識の定着をはかる。ライティングの練習になる。Summary Sheetは提出させて、教師が添削をしている。きちんとOral Introductionを理解しているかの確認にもなる。

## 研究協議

30名ほどの先生方が研究協議に参加して意見を交換した。その中で、聞く話すを多く指導していて、読む書くが少ないが、大学受験のための英語の指導はどうするのかという質問が出た。また、別の先生方からは、暗記ばかりの受験指導では英語嫌いを作り出すばかりであるという意見が出た。中学校から暗記ばかりの授業で英語が嫌いになってしまったが、大学で聞くこと話すことの活動を行ったら英語が好きになった学生がいたという話も出た。